

単元名 うつりかわる市とくらし

配当時間 16時間

- 単元の目標 (1) 市の様子の移り変わりについて、市の人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにするとともに、聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめることができる。
- (2) 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することができる。
- (3) 市の様子の移り変わりについて、学習問題などの解決に向けて意欲的に追究するとともに、これからの市の発展について考えようとする。

標準的な展開例

03030301_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 昔と今の市（町）や人々の生活の様子について、写真やグラフなどを見て話し合い、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図帳等で、愛知県や自分の市（町）の位置を確かめる ○ 市（町）の昔と今の写真を比べて、変わった所や変わっていない所を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今より昔の方が、人の数が少ない ・ 今は昔よりも建物が多い ・ 今と昔では、服装はあまり変わらない ★ わたしたちが暮らす市（町）は、どのように変わってきたのだろう ○ 学習問題について予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住む人が増えてきたから、建物が多くなってきたのかな ・ 昔の人の様子や暮らしを知りたいな ○ 市（町）の様子の移り変わりについて予想したことを基に、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調べる内容…各時期の市（町）の様子や人々の暮らし生活の道具 ・ 調べる方法…郷土資料館や博物館への見学、市役所や役場、図書館の本やインターネット ・ 表現の仕方…年表 <p>3～4 JR武豊線や名鉄河和線・常滑線などの鉄道が通った頃の様子と人々の暮らしについて調べ、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道が通った頃の様子を写真や地図等で調べる。 ○ 調べたことを基に、市（町）の様子や当時の人々の暮らしの様子を話し合い、まとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道がまだなく、井戸から水をくみ上げていた ・ 洗濯板とらいを使って洗濯をしていたので、時間がかかって大変そうだな <p>5～6 知多半島道路や西知多産業道路などができた頃の様子と人々の暮らしの様子や生活の変化について調べ、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知多半島道路などができた頃の様子を調べ、自動車専用道路ができたことで、どんなことが他にできたり増えたりしたのかを調べる。 ○ 知多半島道路などができた頃の人々の暮らしの様子を調べ、生活の道具の移り変わりとともに、人々の生活の様子も移り変わってきたことを調べ、まとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 洗濯機はローラー式から二層式に変わってきて、より便利になってきたね ・ 手作業が多かった時代から、電気製品を使うようになったことで家の仕事にかかる時間が減ってきたね ・ 他にも私たちの知らない道具はあるのかな <p>7～9 郷土資料館や博物館等を見学し、昔の人々の暮らしの移り変わりの様子を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【資料】『知多半島の今昔』（郷土出版社）『知多半島の昭和』（樹林舎）、学校数や人口等の移り変わりが分かるグラフ等 ・ 地図帳を活用しながら、自分の市（町）の位置を確認させる。 ・ 日本から見た位置や愛知県から見た位置などで、市（町）の位置を表現させるようにする ・ およそ何年前の写真かを伝え、「今と昔でどんなところが変わったのだろう」と問いかける。 ・ 写真資料を見る視点として、建物や電車、人々の服装や様子等を提示するとよい。 【評】今と昔の様子を比べて話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 市（町）の様子や人々の暮らしについて予想させる。 ・ 人口の移り変わりを示すものや表や棒グラフなどを活用する。 ・ 市（町）の様子や人々の暮らしについて、いろいろなことが変わってきていることから、他にも変わってきていることがあるかなど、変化に興味をもたせるようにする。 ・ 調べる時期を2つの時期に区分しておくとうい。 ・ 元号についても触れるようにする。 ・ 半田や武豊などにおいては、明治から大正において舟が使われていたことを扱ってもよい ・ 最後に年表にまとめていくことを知らせ、見通しをもたせる。 ・ 博物館の人や地域の人から話を聞く機会を設けてもよい。 ・ 人々の暮らしの様子では、当時使っていた生活の道具を取り上げる。 【評】鉄道が通った頃の様子を調べ、まとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 知多半島道路などが現在も通っているため、自分たちの生活と関連付けて考えさせることで、だんだんと現在の市（町）の様子に近づいていっていることをつかませる。 ・ 市役所や役場が建てられたことについても調べるとよい。

<ul style="list-style-type: none"> ○見学の計画を立てる。 ○郷土資料館や博物館へ見学へ行く。 ○昔の道具や暮らし体験をしたり，学芸員の話の聞いたりして，昔の人々の暮らしについて知る。 <p>10～11 現在の市（町）の様子や人々の暮らしの様子について調べ，まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現在の交通の様子や人々の暮らしの様子について調べ，身の回りに電化製品が増えたことで暮らしが便利になったことをまとめる。 ○少子高齢化など，市（町）が抱えている課題について調べる。 <p>12～13 市（町）の移り変わりについて，これまで調べてきたことを基に，年表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまで調べてきたことを振り返って，年表にまとめる ○できあがった年表について，気が付いたことや思ったことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・交通や道具がどんどん便利になってきた ・人々の暮らしだけでなく，市の様子も移り変わってきて発展してきている ・人口が減ってきているけど，人口が減ると私たちの暮らしはどう変わるのかな <p>14～15 現在，市（町）が抱えている課題や行っている取組について調べ，まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市（町）が抱えている課題や市役所や役場が取り組んでいることを調べる。 ○調べたことをまとめて，話し合う。 <p>16 学習を振り返り，もっと住みやすい市（町）になるために自分たちにできることを考えて話し合い，単元のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの市（町）がこれからどのような市（町）を目指しているのかをこれまでの学習を振り返り，話し合う ○住みやすい市（町）へ発展していくために大切なことや自分たちにできることを考え，発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学のマナーや注意することを確認しておく ・見学をして分かったことや疑問に思ったことはメモをとるようにさせる。 ・体験活動をする場合は，事前に体験の内容等について打ち合わせをしておき，体験を通して人々の暮らしについて考えさせるようにする。 ・体験活動で今と比較させると，昔は不便で暮らしづらいという思いをもちやすいので，提示の順番や発問には留意する。 ・地図帳を活用して，高速道路や鉄道がどこまで延びているのかを調べるとよい。 ・過去の時代にはなかったことと比較して考えることで，今の自分たちの生活と結び付けて考えさせる。 ・市役所や役場の人に話を聞く機会を設けてもよい。 ・教科書P.146～148の「年表のつくり方」を参考にさせる。 【評】年表にまとめる活動を通して，「知識・技能」を評価する。 【評】年表を見て話し合う活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。 ・市役所や役場から資料を取り寄せるとよい。 ・市（町）の取組の一つ一つに税金が使われていることを理解させる。 ・自分たちにできることを実現可能な範囲で考える。 【評】発表する活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
--	---

【 備 考 】